

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（2日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	秋田県都市情報処理研究会		代表者名	安井 正樹
担当者部署	能代市役所		連絡先電話番号	0185-89-2146
担当者役職	主任	担当者氏名	近藤 健介	連絡先E-mail
住所	016-8501 秋田県能代市上町1番3号			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三木 浩平
評価	よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	講演内容は、「自治体システム標準化と実装環境-ガバメントクラウド導入に向けて-」であり、今後、各自治体において近々に対応が必要になる事業について、詳細な資料の提示と解説をしていただいた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月8日	13時35分	15時00分		85
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 秋田県都市情報処理研究会研修会 参加者	人数 30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）</p> <p>自治体システムの標準化・共通化への取り組みや行政手続のオンライン化に向けたデジタル化の基盤の構築等を進めていくにあたり、国の動向、ガバメントクラウドへの移行の手法、標準的なスケジュールの理解など各自治体において方針や進め方を検討する。</p> <p>支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）</p> <p>各自治体において、令和7年度末までに行う自治体システム標準化への対応やガバメントクラウドへの移行について理解を深める。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体システム標準化についての解説 デジタル改革関連法やデジタル庁などの国の動向 自治体システム標準化に向けた法案や方針について 自治体システム標準化の目的や対象範囲 ガバメントクラウドの移行イメージや先行事業の説明 自治体システムベンダーの現状や想定される状況 <p>支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）</p> <p>自治体システム標準化は、これから取り組む事業であるため、改善等は特にありません。</p> <p>具体的な成果物</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p> <p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）</p> <p>自治体システム標準化は、今後の事業のため特にありません。</p>	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは必要なかったため、実施しておりません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	会員は各市の電算担当であり、それぞれの市において自治体システム標準化等に取り組んでいくものと思われる。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

